



ケアマネ みやざき



一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
ケアマネみやざきNo.18
平成29年1月1日発行
発行責任者
担当理事 坂口 和幸

「会長挨拶」

新年明けましておめでとうございます。

皆さま、健やかに新年をお迎えのことと存じます。旧年中は本協会の運営に多大なる御協力を賜り、誠にありがとうございました。今年もどうぞ、よろしく御願いたします。

さて、平成30年からの次期医療計画、介護保険事業計画を見据えた「総合確保方針」についての改正案が話題になっています。これは地域における医療及び介護を総合的に確保するための基本的な方針を睨んだものであり、改正の主な内容は医療計画と介護保険事業計画の整合性のほか、在宅医療の推進及び在宅医療と介護の連携の推進、医療・介護の連携の核となる人材の確保などです。その中で、サービス提供者である介護支援専門員の役割として、切れ目のない医療及び介護の提供が重要とされ、「入退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り」等、場面に応じた連携の支援が大切です。介護保険制度の見直しでは今後、介護保険制度の持続可能性を確保しつつ、地域包括ケアシステムの深化・推進を進めることが求められています。介護支援専門員の資質向上を図る観点から、今後ケアマネジメント手法の標準化が推進されるべきであり、そのためには居宅介護支援事業所における管理者の役割が極めて重要になると同時に、個々の介護支援専門員には入退院時における医療・介護連携の強化などが強く求められることから、介護支援専門員が病院を訪ね情報を共有しやすい体制づくりも急務であると考えます。ケアマネジメントは、介護支援専門員が利用者・家族との間で共有し、個々の価値観や習慣に基づく生活の実現に向けた支援です。全ての市町村で実施される「在宅医療・介護連携推進事業」も大きな課題のひとつですが、この事業における「医療と介護の連携」のうち、特に入退院時の連携については、入院先の医療機関の職員と介護支援専門員の情報共有により、医療・介護サービスがシームレスに提供されることが重要です。また今後は地域の特性を踏まえた地域マネジメントが重要であり、これから地域が一体となって「どのような地域社会を作りたいか」という理念を共有することが大切になりますが、私たち介護支援専門員はその中核を担う職種として、今後も注目され続けます。

介護支援専門員の業務負担ばかりが増している昨今、環境改善を図る必要性を強く実感しています。昨年から始まった新カリキュラム下の法定研修ですが、本県では事務局職員・担当役員の御尽力で混乱もなく開催できており、今後も一丸となって諸事業に取り組んで参ります。また県福祉部・県議の皆さまをはじめ、多くの関係団体の皆さまの御協力のもと、本県独自の事業発展のため今後も協議を重ねて参ります。会員の皆さま方の変わらぬ御支援をよろしく御願申し上げます。



一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
会長 牛谷 義秀

日本介護支援専門員協会 九州・沖縄ブロック研究大会 in 福岡

平成28年12月11日、福岡国際会議場にて九州・沖縄ブロック研究大会「つなぐ・つなげる・つながる」を大会テーマに宮崎県からも多くの会員の皆様に参加いただき、盛会に開催されました。



宮崎県自殺対策に係る人材育成研修会 宮崎県の自殺者の現状について支援者の立場で考える

平成28年10月12日に、宮崎県における自殺者の現状を知り、専門職の知識を深め役割を理解するとともに、うつ病や精神疾患に対する社会的偏見を取り除き、各機関との連携の在り方を学ぶための研修が、メディキット県民文化センターにて行われました。

現状報告

宮崎県福祉保健課 自殺対策担当 大隅崇行様より、宮崎県の自殺者数の動向についての説明が行われました。

宮崎県では、平成19年に自殺者数がピークを迎えてから平成20年度に宮崎県自殺対策行動計画を策定し、関係機関団体が一体となり総合的な自殺対策に取り組んだ結果、35%の減少にあるが、平成27年度は全国的にみると3番目に高い自殺死亡率となっている。この現状を多くの県民に認識

していただき、尊い命が自殺により失われないように、県を挙げて中長期的に包括的な支援を介護支援専門員の皆さんにも協力いただきたいと述べられました。



宮崎県福祉保健課
自殺対策担当 大隅崇行 様

講演

自殺につながる「うつ」への対応

～うつを経験からわかったこと～

先生は、心を楽にすることや、ありのままの自分を受け入れる大切さをお話しいただきました。

また、ご自身の経験から治療のポイントや環境寄り添い方の重要性について、感情表現の促進や傾聴など具体的なポイントを分かりやすくご説明されました。

最後に、自殺対策のひとつであるゲートキーパーについて、介護支援専門員が「命の門番」となれるよう、悩んでいる人に支援を行い、自殺予防を意識してほしいと訴えられました。



クリニックうしたに
副院長 松崎 泰憲 先生

地域ブロックネットワーク 及び協会主催研修会報告

県北ブロック研修会 ☆ 平成28年12月23日(金) 延岡市中小企業振興センター ☆

テーマ『質の高いケアマネジメントを目指して』

～利用者の理解を深めるための対人援助の視点・態度・技法を学ぶ～

講師 Healing forest～癒しの森～ 代表 明石 二郎 様

県北をはじめ県内各地から多数の申込みがあり、当初予定より午前の部を追加し、各約100名の参加者がありました。講義では、支援者は利用者を知る前に自分を知る＝自己覚知のための「傾聴」の実践を行うこと、「人間の尊厳」を大事にするために「もし自分だったら」を真剣に考える事が必要である。支援者自体の価値観が利用者の自己決定支援に大きく影響する可能性がある事を理解する、といった事を学ぶことができました。様々な事業所の方と人生や自分の余命について話しをしDVDを視たり、真剣さの中に笑いもある研修となりました。改めてアセスメント力や最後まで利用者やご家族とどう関わって行くかを考えさせられる研修会となりました。



宮崎県介護支援専門員協会 今後の研修会などのお知らせ

◆平成28年度 県央ブロック研修会◆

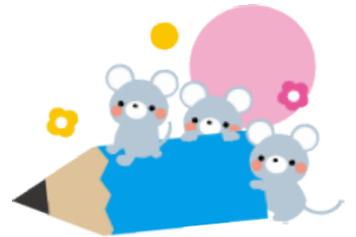
テーマ 『自立支援型のケアマネジメントを目指して』

日時 平成29年2月4日(土)

13:30～

場所 宮崎県福祉総合センター

講師 医療法人隆徳会鶴田病院 理学療法士
宮崎県理学療法士会 会長 中田 洋輔 氏



◆平成28年度 宮崎県介護支援専門員協会 研究大会◆

テーマ 『つなげよう みんなの思いをひとつに』

～これからの地域包括ケアシステムに向けて～

日時 平成29年2月12日(日)

10:00～15:40 (9:00受付開始)

場所 シーガイア・コンベンションセンター 4階天瑞

講師 宮崎県福祉保健部長寿介護課 医療・介護連携推進室
地域包括ケア推進担当 中田 歩 氏
厚生労働省老健局振興課 介護支援専門官 石山 麗子 氏
大貫診療所 医師 榎本 雄介 先生



◆平成28年度 施設ケアマネジャー研修会◆

テーマ 『介護保険施設ケアマネジメント実務の手引きについて』

日時 平成29年3月4日(土)

10:00～16:00

場所 宮崎県福祉総合センター

講師 長崎県介護支援専門員連絡協議会
副理事長 七種 秀樹 氏



日本介護支援専門員協会メールマガジン登録のお願い

日本介護支援専門員協会（以下、JCMA）では、介護支援専門員に関することを中心に介護・医療・福祉に関する国の審議会・検討会等、行政の動き、JCMAの行事や研修会のお知らせをメールマガジンでその都度お知らせしています。

最新の情報が入手できますので、是非とも多くの会員の皆様のご登録をよろしくお願い致します。登録方法は以下の通りです。

件名「メルマガ登録希望」と記載して「・日本協会の会員番号・会員氏名・登録希望アドレス・電話番号・都道府県支部会員番号」の5項目をご記入いただき、

会員管理専用アドレス member@jcma.or.jp にお送りください。

なお、スマートフォンご利用の方も、パソコンと同じ内容を受信することが可能です。

ケアマネナビゲーター活動ご協力ありがとうございました

平成26年12月から開始されたケアマネナビゲーター事業は、皆様のご協力のおかげで平成28年12月で県内全事業所を巡回させていただくことができました。

皆様からいただきました、ケアマネジメント業務に関する悩みや相談、地域における課題などの多くの貴重なご意見については、介護保険部ケアマネナビゲーターサポート委員会を中心に集約作業を行っております。集約しましたものは、宮崎県介護支援専門員協会を通じ、各関係機関へ順次報告を行ってまいります。

皆様のご協力、誠にありがとうございました。

宮崎県介護支援専門員協会会員数の動向

平成29年1月現在の地域ブロックネットワーク別会員数

ブロックネットワーク	正会員	準会員
宮崎・東諸県	641	12
小林・えびの・西諸	113	0
西都・児湯	99	0
日南・串間	134	1
都城・北諸県	216	3
日向・東臼杵	137	0
延岡・西臼杵	167	0
合計	1,507	16

平成28年度介護支援専門員実務研修受講試験の結果ですが、158名の方が合格されました。これから、研修が始まりますが、一人でも多くの方の県協会の入会を会員の皆様のご協力よろしくお願いいたします。

編集後記

今年度は介護支援専門員実務研修受講試験に158名が合格されました。

では、何名受験されたのか皆さんご存知ですか？宮崎県では1,503名受験

されました。昨年は1,642名でしたので139名減です。全国では今年度12万5千人が受験しております、昨年より1万人減となっており、全国的に介護支援専門員を目指す人口が減っている傾向にあります。介護保険の要である介護支援専門員の担い手が減少していく、今は良いのかもしれませんが、10年後20年後の未来が不安になってきます・・・